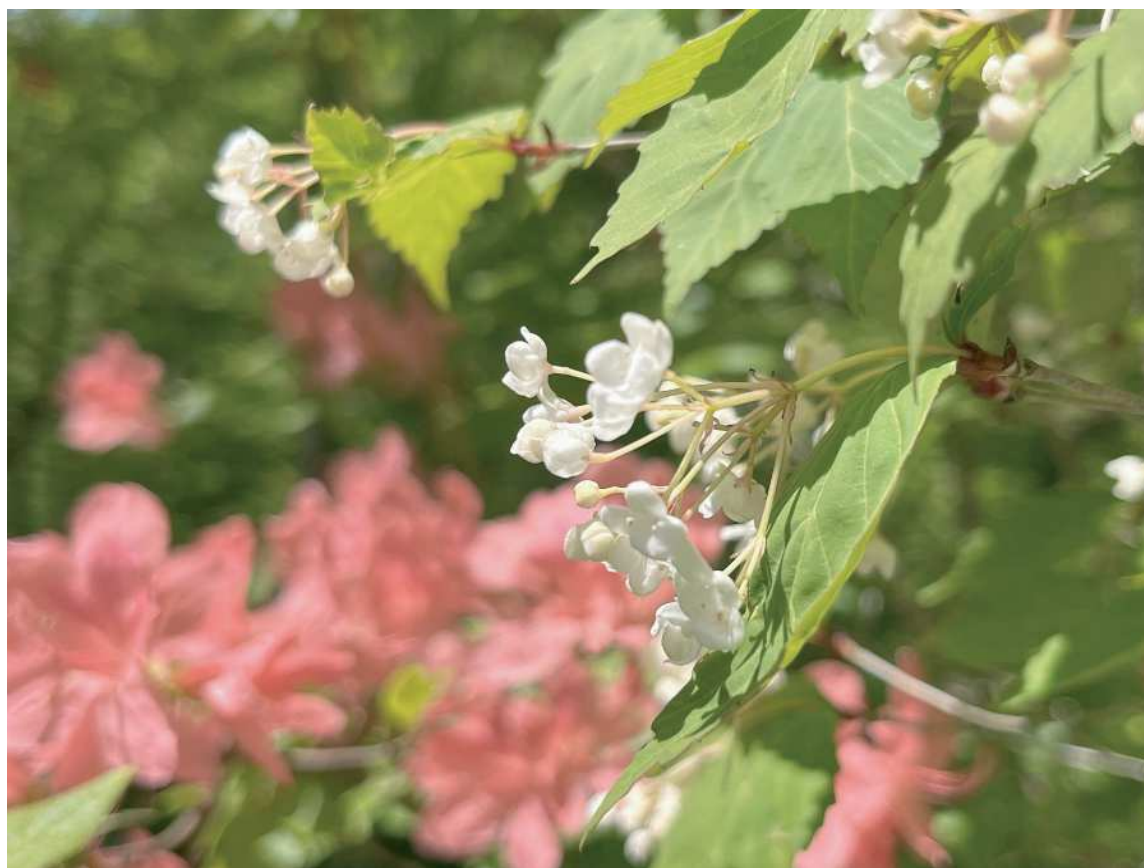


仙台市太白山自然観察の森 情報誌2026年 5月号 No,416

# 木々のおいものら

コゴメウツギの花



木々の若葉が耀き、野鳥や昆虫など、生き物たちが活発になるこの時期  
初夏の風にフジやホオノキの香りが漂い、森歩きにおすすめの季節です。  
野鳥のさえずりを聞きながら、四阿で静かに過ごすひと時はいかがですか。  
4月より新たに濱中が館長を務めます。皆様よろしくお願ひ申し上げます。  
初夏の森で、素敵な出会いがありますように。 【館長：濱中】

## 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

### 『急いては事を仕損じる（せいてはことをしそんじる）』

4月は観察の森でも次々と花が咲いて華やかになりました。冬の間は華（花）がなく、雪があまり降らなかったので雪の華の景色も見られませんでした。全国的にも華やかな景色を待ちわびていたのでしょうか。早くから桜の開花を予想するニュースを目にしました。温暖化の影響なのか、年々開花時期が早まっていて、従来から大分前倒しになりました。仙台の桜の開花も、平年より8日早く、暖かい日が続いたことで、すぐに満開になり散るのも早かった気がします。観察の森の春の植物もいつもより早くに咲いて終わるのも早いと感じます。

早くに花を見られて嬉しく思うのかもしれませんが、咲いて散るのが早いと、都合が悪いことがあります。受粉のチャンスが短いということと受粉を助けてくれる昆虫が出現していないということです。春の初めの方は、寒さがぶり返すことがあり、早い時期に出現すると昆虫たちは寒さで死んでしまうため、日長時間を感じて出現しています。カレンダーを持っているようなものです。決まった時期に出てきたらもう花が終わっていたなんて、昆虫たちも困ることでしょう。人間の立場からも、花見の予定や桜まつりなど開催する時期をいつに設定するか悩みの種らしく、観光や経済に影響があります。

「急いては事を仕損じる」という言葉があります。「あまり急ぐと物事はうまくいかない」という意味で、「急がなければならないときでも気を落ち着けて慎重にやらなくてははいけない」という教訓があります。人間のための教訓ですが、自然のシステムにも当てはまっています。

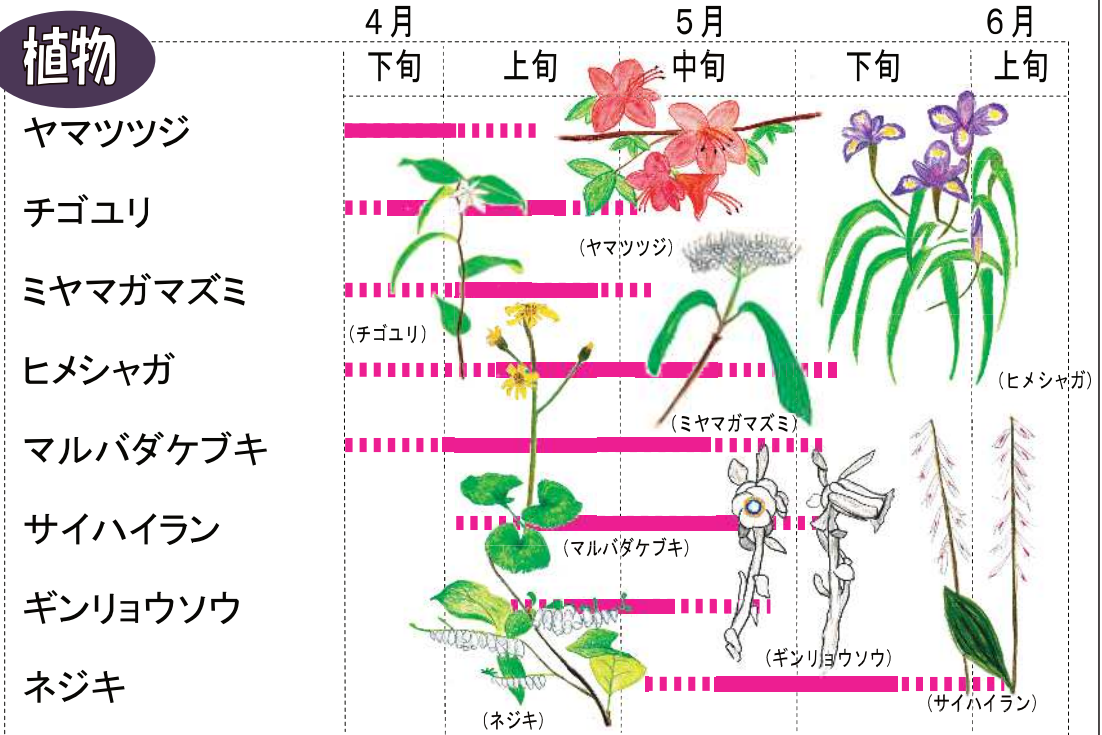
花は人間を楽しませるために咲くのではなく、繁殖のために咲くわけですが、楽しむだけ楽しんでおいて、うまく繁殖をできなくさせているのが人間の影響だなんて、とても悲しいです。

【レンジャー:新田隆一】



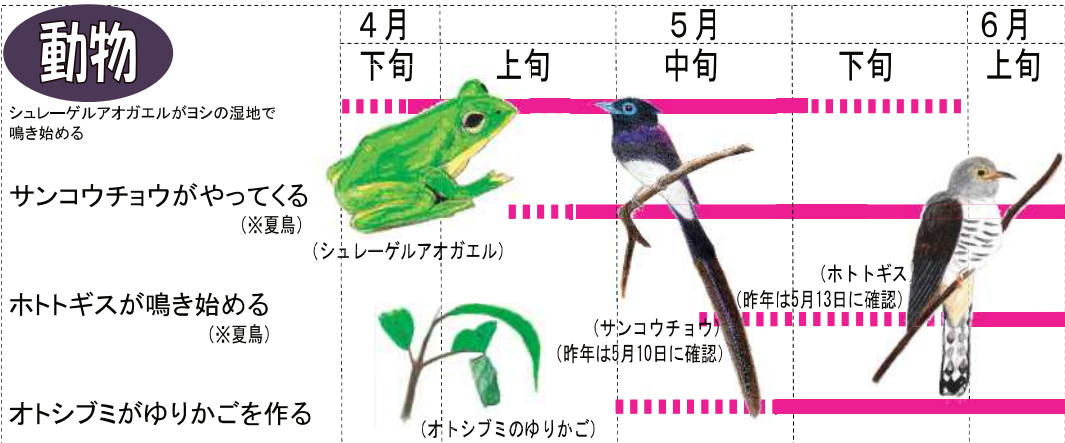
# 5月の生物ごよみ

## 植物



2021年から保護のためヒメギフチョウの累代飼育を続けてきましたが、昨年は卵が激減し、活動の継続が危ぶまれる厳しい状況にありました。しかし、4月19日に待望の卵を約30個ほど見つけることができ、なんとか次世代へのバトンタッチを繋げそうです。一方で、今年は成虫の姿を見かける機会が極めて少なく、春の里山を舞う彼らとの出会いはほとんど叶いませんでした。活動の危機を脱した安堵感はあるものの、個体数の激減という自然界の厳しい現実の直面しています。貴重な命の輝きを絶やさぬよう、決意を新たに飼育に励む5月です。 【レンジャー：齋 正宏】

## 動物



※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。

※累代飼育 飼育下で生まれた親個体を継続して繁殖させること。

# 森の「あれこれ」



## 「夏鳥たちがやってきた」



初夏が近づき、徐々に日も長くなって観察の森では夏鳥の種数が増えてきました。夏鳥とは春から初夏にかけ東南アジアなど南の地域から日本に渡って来て子育てをし、秋にはまた南に帰っていく野鳥たちのことです。特徴のある声で鳴くので、声でだいたいの位置をとらえ、目で動くものを見つけたら、双眼鏡をあわせて行きます。



ゆっくりとしたリズムで“リーリーリー”、そして最後が“ジジジ”と濁る声降ってきました。高い樹のてっぺん近くでオオルリが鳴いています。るり色の背中に白いおなか、声も姿もきれいな人気者です。



若葉にまぎれて“チヨチヨビー”と鳴くのはセンダイムシクイです。林の中にいることが多く、この仲間は姿がみな似ていて見分けにくい種もいます。センダイムシクイは体の色が若葉色で、それが保護色になっていて探すのに苦労しました。

“ヒリヒリ、ヒリヒリ”という声が頭上を移動しながら聞こえてくるとそれはサンショウクイ、白と黒のスマートな姿で観察の森ではよく観察できる鳥だと思います。

声の表記は図鑑など参考に記しましたがスマホがあればYouTubeなどで実際の声聞いてから探すとわかりやすいでしょう。はじめて野鳥を見る方は観察会に参加するのがおすすめです。 【レンジャー：木田秀幸】

# いきものの森



① ギリシア神話の月の女神（アルテミス）の名を冠し、美しい大きな羽根の蛾「オオミズアオ」成虫は口が退化、飲むことも食べることもできません。②「ルリシジミ」です、鳥や動物の糞尿からミネラルを吸汁することもあります、なぜか私の靴先にとまりました、靴が臭いのでしょうか（汗）③「ヤニサシガメ」というカメムシの幼虫、体には松ヤニのような粘着物質を付け、たまに地面に落ちてゴミだらけになるそうです。④ ホースのようなものは「アズマヒキガエルの卵」



毎年、不思議に思います。目覚まし時計のように、ある時期になると、植物が一斉に芽吹き、花を咲かせ、虫や動物たちが動き始め、森が一気に賑やかになります、あの荒涼とした何もない冬の森の光景が嘘のように感じられます、いい季節になりました。 【レンジャー：菅井 潤】

# イベント & お知らせ



## ◆①『野鳥のさえずる秋保二口林道を散策しよう』

- ・ 5月23日(土) 10:00 ~ 14:00
- 【対象】小学生以上 20人 (中学生以下は保護者と参加)

## ◆②『初夏の鈎取山ネイチャーウォーキング』

- ・ 5月30日(土) 10:00 ~ 15:00
- 【対象】小学生以上 20人 (中学生以下は保護者と参加)

## ◆③『自然感さつ専科「クモウォッチング」』

- ・ 6月7日(土) 10:00 ~ 12:00
- 【対象】小学3年生以上 10人 (中学生以下は保護者と参加)

## ◆④『おはよう野鳥かんさつ』

- ・ 6月13日(土) 6:30 ~ 8:00
- 【対象】どなたでも 20人 (中学生以下は保護者と参加)

## ◆⑤『虫が苦手な人のための観察会』

- ・ 6月14日(日) 10:00 ~ 11:30
- 【対象】小学生以上 20人 (中学生以下は保護者と参加)

【申込み】Eメールにて 各締切日必着(抽選) 詳細はQRコードで



※ 申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp

自然観察の森の最新情報やイベントへのお申込み、  
「森のおくりもの」バックナンバーはQRコードから



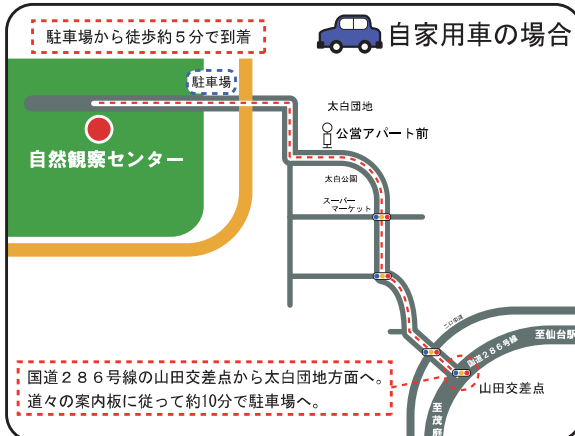
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 5月の休館日

毎週月曜日(7日、11日、18日、25日)

※月曜日が祝祭日の場合、翌日以降の平日が休館



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」

【先行】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘庫庫行」乗車  
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

2026年 5月号

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133